

中学校進学を見据えて・・・

3学期は、中一ギャップの軽減という小中一貫教育のねらいの一つを達成させるために、小学生が中学校進学を見据えての活動が行われています。皆様のご協力に感謝しています。

〈理科出前授業 2月7日〉

6年生を対象に、西部中学校の鈴木先生に理科の指導を行っていただきました。この学習では、実験器具を使用して、物体がさまざまな方向から空気の力（大気圧）を受けていることを学びました。

水をいっぱいにした試験管に紙でふたをし、逆さにしても下からの空気の力によって水が落ちないこと、その状態のまま紙を外しても水が落ちないということが分かり、教室には大きな歓声が上がりました。

小学生の子どもたちにとって、とても楽しい学びの機会になったようで、「早く進学して、いろいろな実験をしたい!」という声が多数聞かれました。



〈中学校登校体験②・説明会 2月18日〉

この日は小学生が中学校にお邪魔し、中学校生活についての説明会と体験授業が行われました。

音楽の体験授業では、よりよい発声に向けての指導をしていただきました。美術では、色の明暗などを表現するための技法を学びました。その後の説明を聞き、進学に向けての意識が高まってきた小学生の子どもたちでした。

体験授業・説明会と、中学校の先生方には多大なるご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



平成31年度に向けて・・・

平成30年度の活動も、残すところあとわずかとなりました。皆様のご協力のおかげで、大変充実した活動が実施されたと考えております。本当にありがとうございました。

さて第2回小中一貫会議の際に、各プロジェクトから年度の反省と今後の展望を挙げてもらいました。それをもとに事務局で話し合い、次年度の計画を次のように考えています。詳細は新年度に入ってからお知らせします。

①次年度の活動方針について

- ・今年度の取組をベースとして、改善を加えていく。

②次年度の重点的に取り組む内容について

- ・家庭学習習慣の定着に向けた取組の強化
- ・乗入授業、合同授業の充実と改善
- ・小中両方の研究教科である「道徳科」での連携
- ・西部スタンダードの定着
- ・全教科の系統表作成と、指導計画への反映

③次年度の主な計画について

(別紙進行管理表の赤文字の部分が今年度からの変更点)

- ・会議回数について
⇒しっかりと共通理解を図ったうえで進行していく必要があると考えています。具体的には、全体会議を4回実施、全体会議前には事務局会議・プロジェクト会議を行います。会議の持ち方を工夫し、短時間で効率よく実施できるよう努めます。
- ・乗入授業について
⇒中学校の先生による乗入授業を、学期1回実施できるように…。(3学期は登校体験の授業)
⇒小学校から中学校への乗入は、教科を決めてTTという形で学期数回実施できるように…。
- ・合同授業について
⇒小4中1の合同授業は、地域ごみ拾い活動を実施する。
合同で行う意義、今後の持続可能性を考えたときに、効果的な活動だと考えます。
- ・学力向上策について
⇒夏休み学習会 中学生を対象にした「小学校算数講座」を開設する。講師は小学校の教師が務める。

具体的な計画は、平成31年度に入ってから検討することになります。西部の子どもたちのために、小中の教員も連携して、よりよい活動を行っていただけるよう、ご理解とご協力をお願いいたします！！

今後の予定

- | | |
|---------|---------------------------|
| 3月上旬 | 小6学年末テスト |
| 4月上旬 | 第1回事務局会議 |
| 4月の職員会議 | 計画の大筋を提示・確認(進行管理表に基づいた確認) |

2019年度 西部中学校区 小中一貫教育進行管理表

取組事項	学校経営		推進組織	教育課程			交流・連携・協働			
	◆学校経営方針 ・めざす子ども像 ◆研究主題	◆学校評価 ・児童生徒アンケート ・保護者アンケート ◆各種調査結果分析	◆推進組織 ◆全教職員研修 ◆会議等 スケジュール	◆教科年間指導計画 ・系統表の作成 教科【音】【図】【体】 【技家】【英語】	◆「大志学」 ・全体計画 ・年間指導計画 ・夢ノート	◆乗入授業・学習 ・中から小へ ・小から中へ ・小の中学校登校	◆統一的な指導 ・スタンダード ・授業スタイル ・ノート、家庭学習	◆児童生徒間交流 ・児童会生徒会 ・合同授業・行事 ・部活動体験	◆家庭・地域との協働 ①・地域行事・貢献活動 ・学習支援 ・PTA活動	◆教職員間の連携 ・合同の研究協議 ・授業交流・研究 ・日常的な交流
4月	□経営方針等の共有 □互いの経営方針、小中一貫方針・重点の共通理解	☆全国学力調査実施 □自校採点・分析	□第1回事務局会議 □新体制での組織確立 □第1回プロジェクト会議	□国・社・数・理の系統性と重点指導内容の確認 (主に事務局)	□夢ノート活用計画提示 □夢ノート活用	□(1学期) 中→小の乗入1回 小→中の乗入数回 *TTとして活用	□「家庭学習の手引き」の説明・指導 □スタンダード説明			
5月		□NRT分析・具体的な方策検討、実践	□第1回小中一貫会議		□農業体験学習(赤毛米田植え)			□中学生作品展① (貼り絵展)	□毎月1日 CSあいさつ運動(児童会・生徒会)	
6月		□新体力テストの実施					□家庭学習強化週間 ・家庭学習ノート展(小学生のノートのみ)	□合同体カテスト(小5と中2)※今年は反復横とび+20Mシャトルラン	□校内研修相互参加(指導主事訪問)	
7月	□児童生徒の課題把握 □子どもにつけた力の明確化 ↓ □経営方針の改善	□全国学力調査結果分析、改善策 □児童生徒アンケート①			□夢ノート活用 □小2中学校訪問(まち探検) □農業体験学習(赤毛米除草)	□夏休み学習会 ・小学校算数を開設 講師は小の教師	□夏休み生活指導	□小中合同防災訓練		
8月		□学力合同分析 ・全国学テ、NRT課題と対応策	□第2回事務局会議 □第2回プロジェクト会議 □第2回小中一貫会議			□(2学期) 中→小の乗入1回 小→中の乗入数回 *TTとして活用	□スタンダード検証(経営反省にて)	□部活動体験(6年) □児童会生徒会交流	CS) 輪厚夏祭り生徒企画参加・協力	
9月		□学校評価項目検討【両校長】	□学力に関する教育相談	□国・社・数・理の系統性と重点指導内容の確認	□農業体験学習(赤毛米稲刈り)				□放課後学習ボランティア □特別支援教育に関わる合同研修同一資料を用いて)	
10月		□学校改善プラン □体力向上プラン	□第3回事務局会議 □第3回プロジェクト会議		□中学校職場体験CS:ソクラテスマーケティング	□小4中1合同授業(地域ごみ拾い活動)		□中学校合唱交流	□校内研修相互参加(指導主事訪問)	
11月	□次年度研究主題の検討 □中学校区教育を語る会開催	□保護者アンケート □児童生徒アンケート②	□生徒指導交流会 & 第3回小中一貫会議	□学力・体力の結果と重点内容の公表(一貫会議にて)		□中学校登校体験① *校舎案内、説明	□家庭学習強化週間 ・家庭学習ノート展	□中学生作品展②(壁新聞展) □特別支援学級合同授業	□PTA合同研修→教育を語る会と併催できると… CS)中学生振興会企画	
12月	□経営方針検討【両校長】			□音・図・技家・体・英語の系統表作成	□夢ノート活用 □年間計画の検証と改善		□冬休み生活指導 □スタンダードの検証(事務局)	□児童会生徒会交流	□地域行事手伝い ●CS)中学生振興会企画	
1月	学校評価 新年度方針策定		□第4回事務局会議 ・次年度計画確定	系統表の完成 □実践検証と年間指導計画への加筆	□次年度計画の作成(加筆修正)		□スタンダード検証(経営反省にて)			
2月	新入学説明会	□新年度方針確定	□第4回プロジェクト会議	□実践検証と年間指導計画への加筆		□中学校登校体験②* 説明、体験授業	□家庭学習強化週間 ・家庭学習ノート展 □小6 学年末テスト	□生徒から児童への説明 □部活動体験(6年)	□除雪ボランティア	
3月		□次年度の学校評価案確定	□第4回小中一貫会議 ・次年度計画公表		□夢ノート活用					
重点課題	□経営方針の重点項目を小中で統一 □研究主題の統一(翌年以降)	□課題・方策の共有化	□会議回数の検討(共通理解に立って進行するために)	□音・図・技家・体・英語の系統表作成と年間指導計画の改善	□キャリア教育資源の発掘・活用 □夢ノートの見直し	□乗入授業の拡大(学期1回に) □乗入授業の方法検討	□家庭学習の内容充実、手引きの効果的活用	□児童会・生徒会交流の導入	□学習支援の充実 □小中PTAの連携	□日常的な交流の充実

